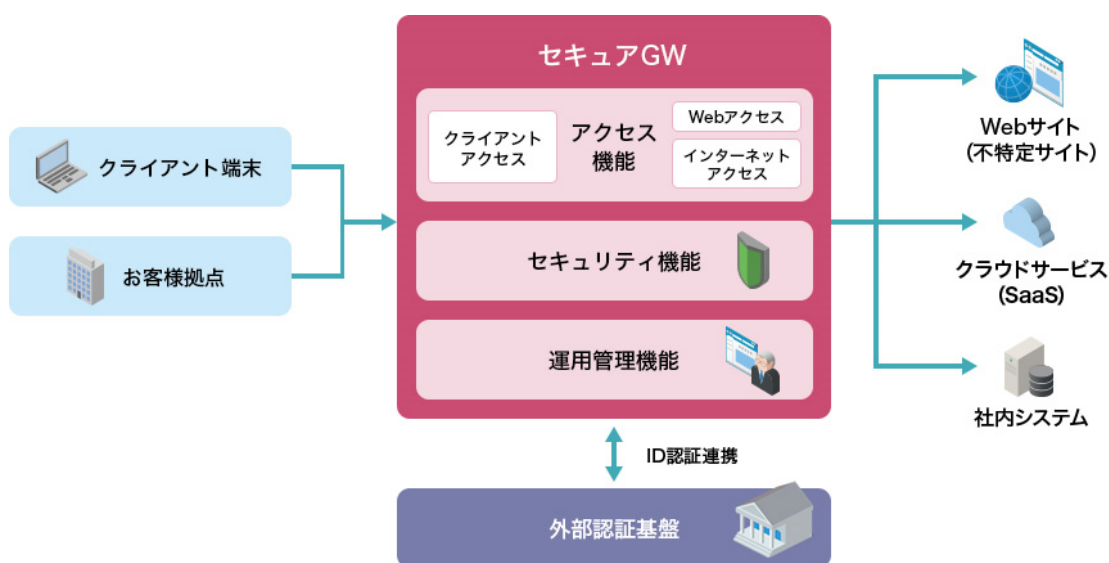


インテック、働き方改革やDXを推進するSASE機能を追加し、 「統合型セキュアネットワークサービス」を提供開始

TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：北岡隆之、以下インテック）は、マネージド型企业間ネットワークである「統合型閉域ネットワークサービス（EINS/MOW DCAN）」を「統合型セキュアネットワークサービス」に名称変更し、2023年4月から、新しい働き方やDX推進に合わせたSASE※1を実現するための新機能を追加し、「セキュアゲートウェイ（以下、セキュアGW）」を提供開始します。

※1 SASE：Secure Access Service Edge の略称。IT環境におけるセキュリティ機能とネットワーク機能を1つのクラウドサービスに統合させるという、新たなネットワークセキュリティフレームワークの考え方のこと。

■「統合型セキュアネットワークサービス」の新機能「セキュアGW」提供内容



■背景

働き方改革やDX推進によって、働く場所、時間、環境が大きく変化しています。在宅勤務が常態化し、Webミーティングなど、インターネット越しのコミュニケーションが当たり前になった昨今、従来の閉域網ベースの企業間ネットワークや境界型防御の考えだけでは、ネットワークトラフィックの増加や悪質なサイバー攻撃への対応が難しくなっています。社員がいつでも、どこでも、どのような環境下でも、安心かつ快適な業務ができるように、ネットワークの最適化とセキュリティの見直しをすることが、企業にとって重要な課題となってきています。

そこでインテックは、これまで提供していた「統合型閉域ネットワークサービス（EINS/MOW DCAN）」に、SASE機能として「セキュアGW」という新機能を追加し、「統合型セキュアネットワークサービス」に名称変更しました。

新機能の「セキュアGW」により、社外からのリモートアクセスや、クラウド環境の利用時にお

けるセキュリティ強化など、お客様の多様なニーズに合わせた、新しいネットワークセキュリティを柔軟に提供できるようになりました。

■働き方改革・DX 推進による新しいネットワークセキュリティ<イメージ図>



■「統合型セキュアネットワークサービス」の特長

①新機能の「セキュア GW」を用いた、セキュアなインターネットアクセスが可能

「セキュア GW」では、アクセス機能、セキュリティ機能、運用管理機能を提供します。これにより、ID 認証や Web プロキシを介したインターネット接続が可能になり、不正アクセスやマルウェアなどの脅威からお客様環境を守ります。

②閉域網とインターネットによるハイブリッド構成

お客様がシステムをインターネット環境にクラウドリフト※2 する中で、セキュリティやネットワーク品質のリスクから、インターネット環境に接続できない場合でも、閉域網を介して接続することで、安全かつ高品質な IT インフラ環境を構築することができます。

また、「統合型セキュアネットワークサービス」は、閉域網とインターネットによるハイブリッドなアクセスが可能であるため、閉域網とインターネットを併用することで、ネットワークの BCP 対策を実現できます。

③ワンストップサービスとして IT インフラを運用管理

多くのメガクラウドサービスや SaaS 利用に伴って、管理者の運用範囲や求められるスキルが広がってきています。インテックは、データセンターやクラウドサービス、監視など、自社プラットフォームサービスブランドである「EINS WAVE」の他のサービスと組み合わせて、お客様に最適なインフラ環境をワンストップでサポートします。

※2 クラウドリフト：オンプレミス環境の業務システムをそのままクラウド環境に移行すること。

<「統合型セキュアネットワークサービス」提供機能の一覧>

| 「セキュア GW」提供機能 | | 内容 |
|---------------|--|--|
| アクセス機能 | Web アクセス | ID 認証や Web プロキシを介したインターネット接続により、インターネットの不特定サイトやクラウドサービスをセキュアにアクセス可能。 従来のインターネット GW※3 で提供していた、IP アドレスベースのセキュリティチェックではなく、ID 認証を利用したユーザレベルでのチェックに加え、復号化した通信の検査により、セキュリティ強化を実現。 |
| | インターネットアクセス | Web に特化したアクセスやその他のインターネットアクセスを提供。IP アドレスベースの制御により、インターネットアクセスのセキュリティ強化を実現。 |
| | クライアントアクセス | エージェントがインストールされた PC などの端末において、自宅などのインターネット環境から安全にインターネットアクセスや社内システムへのアクセスを提供。 |
| セキュリティ機能 | 各種アクセス機能に付随した SWG※4、CASB※5 機能、SSL 復号などを提供。 | |
| 運用管理機能 | アクセス機能とセキュリティ機能の管理や、ログ確認を行うインターフェースを提供。 | |

※3 インターネット GW：「統合型セキュアネットワークサービス」で提供しているメニューの 1 つで、閉域網からインターネットにアクセスする出口のこと。

※4 SWG：Web アクセスする際に、ID 認証やサンドボックスチェックなどを備えたプロキシを経由することでセキュリティを担保する機能を提供。

※5 CASB：クラウドサービスを利用する際に経由することで、クラウドサービス側のテナント制御などが可能。

■「統合型セキュアネットワークサービス」について

「お客様」と「TIS インテックグループの各種サービス」を接続するマネージド型の企業ネットワークサービスです。

多様なアクセス回線によるお客様拠点の接続、TIS インテックグループが提供する各地のデータセンターハウジングラックへの高信頼な接続、多種多様なクラウドサービスとのゲートウェイ接続を、お客様のニーズに応じて提供します。ネットワークをベースにさらなる付加価値を提供します。

「統合型セキュアネットワークサービス」の詳細は、以下をご参照ください。

https://www.einswave.jp/service/network_service/sase/

■今後の展開

今後、「統合型セキュアネットワークサービス」に SD-WAN※6 や ZTNA※7 などの機能を拡張し、より最適化されたネットワークを提供します。インテックでは、今後変化しつづけるお客様の働き方やニーズに合わせた、エンタープライズ向けのネットワークサービスを提供していきます。

※6 SD-WAN：ソフトウェアによって定義された広域ネットワークで、高度なコントロールが可能。

※7 ZTNA：オンプレミスシステムへのアクセス ID 認証やセキュリティ強化を提供する機能のこと。

■ 「EINS WAVE」について

「EINS WAVE」は、共に課題を解決するパートナーとして、お客様のビジネスを支える最適なプラットフォームをスピーディに提供することを理想とした TIS インテックグループの自社プラットフォームサービスブランドです。

クラウドサービスやネットワークサービス、データセンターサービスを中心に、お客様のビジネスの可能性を広げる IT 製品・サービスなど、TIS インテックグループの持つ豊富なラインナップを導入から運用までトータルに提供します。

「EINS WAVE」の詳細は、以下をご参照ください。

<https://www.einswave.jp/>

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

株式会社インテックについて (<https://www.intec.co.jp/>)

お客様の経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT 分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA 等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客様に新しい価値を提供してまいります。

TIS インテックグループについて

TIS インテックグループは、国内外グループ 2 万人を超える社員が『IT で、社会の願い叶えよう。』を合言葉に、「金融包摂」「都市集中・地方衰退」「低・脱炭素化」「健康問題」を中心とした様々な社会課題の解決に向けて IT サービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして新たな価値を創造し、人々の幸せと持続可能な豊かな社会の実現に貢献します。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報室 小川、長谷、稲垣
E-Mail : press@intec.co.jp

◆本サービスに関するお問い合わせ先

株式会社インテック ネットワーク&アウトソーシング事業本部 N&O ビジネス戦略部
担当：竹松
E-Mail : net_info@intec.co.jp